

浚渫兼油回収船「清龍丸」の船内大公開！！

～5月15日(金)に見学会を開催しました～

平成27年5月15日(金)に、普段は見るできない中部地方整備局名古屋港湾事務所所属の浚渫兼油回収船「清龍丸」の船内を公開し、「清龍丸」の役割を知って頂くために名古屋港湾事務所が開催した。

見学者は、抽選にて選ばれた50名で、見学会は午前と午後の2回にわけて開催。

船内にて「清龍丸の建造」と「清龍丸の油回収・浚渫・防災機能」の紹介ビデオを見た後、船内の宿泊施設や操船を行うブリッジを見学した。ブリッジからは、同所属の海洋環境船「白龍」の放水訓練の様子や流木の切断訓練の様子なども見学した。

参加した見学者からは、「この船には、災害時の油回収機能や浚渫機能があり、頼もしい仕事ができることに感動した。」「月曜日から金曜日まで、昼夜を問わず24時間活動しているとは大変であると思った。」「3.11の東日本大震災のお話や活躍を聞くことができ感謝します。」などの感想が聞かれた。

今回の見学会に、定員の約3倍の応募があったことから、名古屋港湾事務所では、見学会を7月(第2回)と9月(第3回)に開催することとしている。

■見学会アンケート結果(別紙1)

■当日の様子(別紙2)

■浚渫兼油回収船「清龍丸」(別紙3)

配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお)

TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303

5月15日(金) 清龍丸見学会 アンケート結果 (参加者50名)

1. 性別、年齢

<性別> 男性 **58%** 女性 **42%**

<年齢> 60歳以上 **86%** 60歳未満 **14%**

2. 見学会の感想や意見

満足 **92%** ふつう **8%** 不満 **0%**

- ・ 日頃見ることのできない、知ることのない事に興味深く接する事ができて有意義だった。
- ・ 船内の案内が親切丁寧でとてもわかりやすかった。
- ・ 生活範囲など見学できて良かった。
- ・ 記念写真が良かった。
- ・ 仕事内容を知ることができて良かった。
- ・ 3.11の東日本大震災のお話や活躍を聞くことができ感謝します。
- ・ 暑い中長時間ありがとうございました。
- ・ いろいろな知識を得ることができ感謝している。
- ・ この船には災害時の油回収機能や浚渫機能があり頼もしい仕事ができることに感動した。
- ・ 月曜日から金曜日まで、昼夜を問わず24時間活動しているとは大変であると思った。
- ・ 本船の必要性を実感することができた。
- ・ 港の機能維持が大変で重要であることがわかった。
- ・ もっとこのような見学会を開催して欲しいと思った。
- ・ 港湾で活動しているところを見学したかった。
- ・ できれば船を動かして欲しかった。
- ・ 全体の写真を撮れるようにして欲しい。

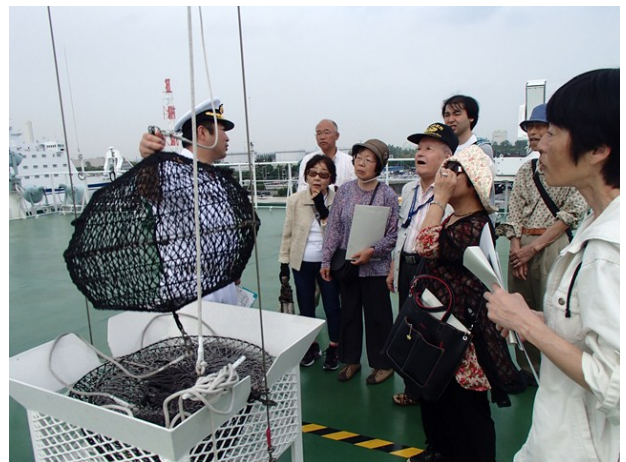
3. 清龍丸見学会に再び参加したいか

参加したい **88%** その他 **12%**

■当日の様子



操作スタンド見学の様子①



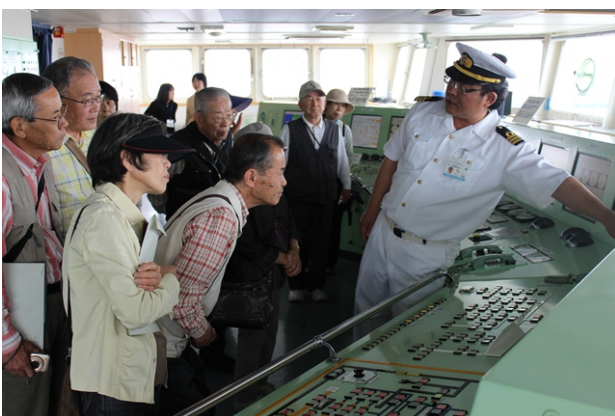
浚渫作業時にあげる信号の説明の様子



操作スタンド見学の様子②



白龍の放水を見学する様子



操作スタンド見学の様子③

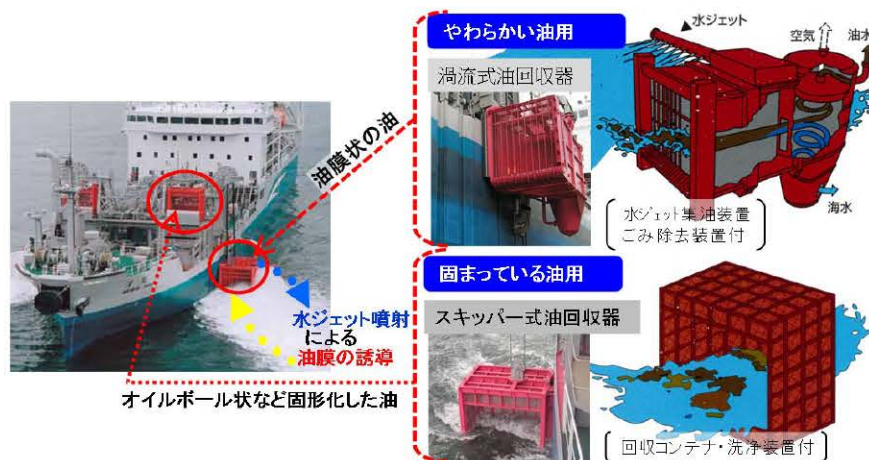
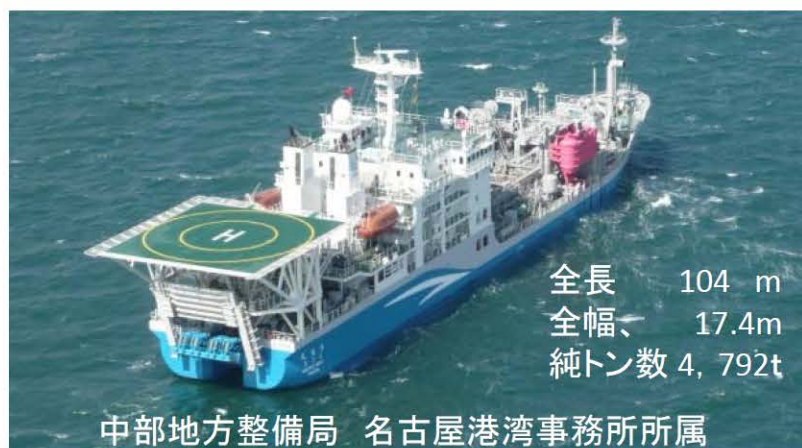


ビデオにて清龍丸を説明する様子

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl (ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。